

## 第 24 回揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリ検討会議事要旨

1. 日時 平成 26 年 2 月 5 日（水） 10:00～12:15

2. 場所 主婦会館プラザエフ B2 会議室「クラルテ」

3. 議題

(1) 平成 25 年度 VOC 排出インベントリ検討会の進め方について

(2) 推計精度向上に関する検討について

(3) その他

4. 出席者

委員：浦野委員長、阿部委員、石井委員、小野委員、菊田委員、桐明委員、矢野氏（久保田委員代理）、南齋委員、浜井委員、前野委員、山口委員

環境省：難波大気環境課長、渡辺課長補佐、永井係員

事務局：株式会社 旭リサーチセンター

5. 議事内容

開会宣言、環境省挨拶、委員の自己紹介、委員長指名（浦野委員長をご指名）、配付資料の確認の後、事務局より議題について説明を行い、議論が行われた。

各議題の内容については以下のとおり。

議事 1. 平成 25 年度 VOC 排出インベントリ検討会の進め方について

事務局より資料 1「第 23 回揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリ検討会議事要旨と平成 23 年度 VOC 排出量推計概要」の説明があり、前回の検討結果の説明を行った。

昨年度の発生源別推計の「化学品」の統合に関して質問があり、委員長及び事務局より経緯の回答があった。

事務局より資料 2「平成 25 年度 VOC 排出インベントリ検討会の進め方（案）」の説明があり、委員長より「本委員会は各産業界から委員が参画しているので、事務局は産業界との交流を有効に進めるよう」にとの指示があった。

また、本年度の調査目的である“増減要因の把握”については、以下の質疑があった。

- VOC インベントリは、PM2.5 や光化学オキシダントの前駆物質とされる VOC の 物質別の把握と、削減の実施源である 業種別の把握が、主目的である。それらを 発生源別から導こうとするものである。 地域別の配分は一昨年より見直しを始めているが、まだ精度的に粗いところがある。 業種別、 物質別の精緻化を目指すことが重要である。
- 本来の意味である“増減”の分析は経産省の管轄事項で、本委員会は計算過程の分析であることを考えると、あまり小さなところで、精度アップの努力をしても価値が低い。
- 地方自治体にとって、 地域別の増減は関心事項である。 地域別の配分方式はできるだけ開示してもらいたい。

## 議事 2 . 推計精度向上に関する検討について検討

事務局より資料 3「VOC 排出インベントリの推計方法」及び資料 4「VOC 排出インベントリの推計方法の改善検討(案)」の説明があり、以下の質疑があった。

- 資料 4 の「改善検討の考え方等」の欄の記載内容は題名と一致していない。委員長より「考え方」と「本年度の行動予定」に整理して、委員にメールで配布するよう、指示があった。アクションを記載することが肝心との指摘があった。
- 「製造機器類洗浄用シンナー」について、塗料は水性化の動きがあり、それに連動しシンナーは減少傾向と思われる。関連工業会等への確認の指示があった。
- 「ラミネート用接着剤」について、捕捉率の低さがあるが、それを補強する方法の検討の指示があった。
- 「ゴム溶剤」の古い組成データについては、定性的にでも調べることが望ましく、更新の方法についての検討の指示があった。
- 「試薬」の排出量年次推移の基準物質としてのジクロロメタンの妥当性。「試薬」の VOC 排出量は小さいが、ヒアリングなどして、改善・工夫するよう指示があった。

## 議事 3 . その他

### (1)VOC 排出インベントリ「施設別推計方法の試案」について

事務局より「VOC 排出インベントリの推計方法(追加案)」の説明があり、大気汚染防止法において VOC 排出施設に指定されている 9 種の施設について、VOC 排出抑制対策の進捗状況(法規制及び自主的取組の効果)を把握するための推計方法の試案を提案し、妥当性について審議した。主な議論は以下のとおり。

- 施設別よりも 発生源別、業種別、物質別の精度向上を優先させるべきではないか。
- 平成 23 年度実施の VOC 規制対象施設の排出量アンケート調査の規制施設別推計排出量と VOC 排出インベントリデータから推計される規制施設別推計排出量の比が、0.9%(8 項・工業用洗浄施設)、1.6%(9 項・貯蔵施設)あるいは 222.2%(4 項・粘着用乾燥施設)になるのは、対応関係に問題があることを示しているのではないか。
- 化学製品乾燥の規制施設からの排出量が化学工業での化学品からの排出量の 8.4%との推計は感覚的には納得できる。なお、経年変化なしの前提で過去を推計するのは無理がある。

### (結論)

提案された推計方法は検討課題が多く、検討会としては承認しがたい。報告書には、“試みた”程度の表記が好ましい。取扱いは環境省に一任された。

### (2)次回日程

3 月 20 日(木) 10:00 ~ 12:00

議題「平成 25 年度 VOC 排出インベントリ検討会報告書(案)の検討、承認」

場所等詳細は追って連絡する。

## < 配付資料 >

平成 25 年度揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 開催要綱

- 資料1 第23回揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリ検討会議事要旨と平成23年度VOC排出量推計概要
- 資料2 平成25年度VOC排出インベントリ検討会の進め方（案）
- 資料3 VOC排出インベントリの推計方法
- 資料4 VOC排出インベントリの推計方法の改善検討（案）
- 委員会限り資料 VOC排出インベントリの推計方法（追加案）
- 参考資料1 VOC排出インベントリ・発生源品目別計算式一覧表

以上